

サポートセンター通信

No. 102

発行日：2023年8月15日 第102号

発行元：松本市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13 松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX:0263-88-2988
Mail:support-center@support-center.jp
URL:http://www.support-center.jp
YouTube チャンネル(右 QR コード)



今年の「市民活動フェスタ」は、新博物館で

◆「市民活動フェスタ」は11月18日(土)・19日(日)、新しい博物館で開催します。



会場となる新松本市民立博物館

新しい博物館が10月7日(土)にオープンします。新博物館の1階には、交流学習室スペースや講堂があり、広く市民に活用していただく場となっています。

市民活動サポートセンターとしましては、これからも大いにセンターを利用していただくうえで、皆さんの活動や発信の場が増えたことを喜ばしく思います。

本年度の「市民活動フェスタ」を博物館で開催できないかとの意見があり、博物館に相談したところ、博物館長からも日頃から市民活動をされている皆さんに活用してもらえたらうれしいと歓迎の返事をいただき、企画会議で全員一致による新しい博物館での開催が決定しました。

7月24日の会場見学には52名もの参加があり、新しい博物館でのフェスタ開催に大きな期待が高まっています。

このフェスタの目的は、大きく2つあります。1つは「市民活動を多くの人に知ってもらう」、2つ目は「市民や他団体との交流を通じて活動の輪を広げる」です。新たな市民活動の場から、皆さんの活動の発信と交流の輪を広げませんか。

「市民活動フェスタ2023」の参加申込みは、現在募集中です。新しい博物館で行うフェスタに、是非ご参加ください。

(清水口)

7月6日、ふれあいサロン『七夕祭り』開催される



販売会の様子

7月6日(木)、市民活動サポートセンターにて、ふれあいサロン「七夕祭り」(障がい者就労支援施設 市民交流販売会)が開催されました。

参加団体は「てくてく」、「ふれっ手」、「ぬくもり喫茶むくの木」、「ディヤーナ松本」、「あいらいふ南原」の5団体です。お弁当や野菜、焼き菓子、アイスコーヒー、クラフト類など、多数の商品が販売されました。お弁当や焼き菓子などは、来場客のにぎわいもあり完売の様子でした。

参加団体や来場者の方には、願いごとを短冊に書いて笹の葉に吊るしていただきました。賑やかな七夕飾りとともに例年にない盛り上がりでした。

午後は、「がらくた座」の木島千草さんによる交流会が行われました。命の奇跡・尊さについて学ぶ人形劇(性といのちのお話)や、戦争が生んだ動物園の悲劇(実話)を題材とした紙芝居(かわいそうな像)、頭文字をヒントにしたジェスチャーでの言葉当てクイズ、最後に平和を祈って、参加者全員での合唱(戦争を知らない子どもたち)など、盛りだくさんの内容で、参加団体の皆さんに一般市民の方も交じって、大変にぎやかな交流会となりました。(永田)



交流会の様子

松本コネスコ協会

代表者：濱 幾郎
TEL：0263-38-0066
FAX：0263-34-0033



「松本コネスコ協会」は、日本コネスコ協会連盟の“平和で公正な社会や、自立した人生をつくるのは教育であるという信念のもと、寺子屋運動や被災地の教育復興支援、文化や自然の大切さを継承する世界遺産活動・未来遺産運動を行い人々に貢献していく”という理念に共鳴した市内の有志が発足した民間団体です。今回は代表の濱さんと、事務局の原田さんにお話を伺いました。

「コネスコと聞くと世界遺産の印象が強いかもかもしれませんが、まずは未来遺産運動として身近な文化を守っていくことも大切です。」そう語るのは事務局の原田さん。「活動としては国内の文化遺産を実際に見て学ぶ研修会を行っています。また、今までに地域の文化財保護を目的に『身近な文化財』をテーマにした展覧会を開催、文化や遺産を改めて見直してもらう機会を設けてきました。そして、文化も遺産も守り引き継いでいくのは人です。会では書き損じハガキや古切手集めなどの募金活動

をおこない、東北震災、最近だと『こども食堂』など、時代に合わせて必要としている方々への寄付やボランティア活動を継続しています。」

代表の濱さんにもお話を伺いました。「コネスコは応援団のような組織です。松本城の世界遺産登録というのはあくまで目標の一つ、遺産を守ることも大切ですが、それに伴い文化でも環境でも地域を良くしようと活動する方々に対して支援・応援することに力を入れて活動しています。そのために我々も研修や勉強にとどまらず、社会問題についても積極的に考え取り組んでいます。現在は、こども食堂に心の通う寄付をすることを心掛けています。将来的には子供の教育にも関わっていききたい。

また、会員も募集しています。私たちの活動をご理解・共感してくれる方、一緒に活動をして未来遺産やこども食堂など身近な問題について考えていきませんか。」

今残っている風景一つにも様々な人の思いがあつて今の形を成していると思うと、美しい街並みもより趣深く感じます。先人に感謝しつつ、私たちは未来の人にどんなものを残せるのだろうか?そんなことを思い見る取材となりました。(奥寺)

市民学芸員の会

代表者：百瀬 英昭
TEL：0123-32-0133
Mail：mcmuse@city.matsumoto.lg.jp



「生まれた街が好きだから手助けになりたい、松本の伝統文化を知ってもらいたい」とお話してくださったのは、「市民学芸員の会」の会長を務める百瀬英昭さんです。

市民学芸員とは、博物館を舞台として活動する社会教育の実践者であり、博物館を「自己実現の場」としています。松本市は市域全体を屋根のない博物館、いわゆる「松本まるごと博物館」としており、活動の舞台は松本市全域となります。

松本市立博物館が平成18年に養成講座を開講し、松本まるごと博物館の活動をリードする人材の育成に着手しました。

この会は、講座修了生の有志によって組織され、受講終了後は身に着けたスキルを活かし松本について学び、その成果を地域の人々に発信し、より多くの方々が博物館で学ぶ「学びの連鎖」となる活動をしていきたいと思ひます。

七夕人形を子どもでも作りやすいようにと工夫を凝らしたキットを作り、親子向けにワークショップや小学校高学年向けに

出前講座を実施しています。他にも自主活動として、犀川通船、お蚕さま、六地藏、御柱、コトヨウカ、七夕祭り、あめ市、城下町の町名といったテーマでの調査活動や、博物館からの呼びかけによる、まる博 de ウォーキング、あゆみの会による歴史の里での解説活動、考古博物館の事業補助(ワークショップや出前講座)等の活動があります。

さて、来る10月7日(土)に新博物館がオープンします。新博物館では、展示解説やワークショップ等の活動を予定しています。また来年には第4回目の「博物館まつり」を開催したいと思ひます。

市民学芸員の会のみなさんの日々の活動やイベント情報は、Facebook またはインスタグラムで閲覧可能です。

Facebook は「松本市 市民学芸員の会」を検索、または、右の QR コードを読み込んでください!



「松本のみなさんが暮らす地域の魅力を発見し、発信するとともに、市民学芸員同士で交流し学びを深めていきたい」と熱く語っていただきました。(本木)

支える人たち 『まつもつと』(松本をもっとよくしようプロジェクト)

住みたいと思ってもらえるような魅力ある街にするために、「松本をもっとよくしていこう」を理念として活動している松本市の学生団体、『まつもつと』(正式名称:松本をもっとよくしようプロジェクト)の活動について、代表の開拓人さんにお話を伺いました。

一 活動が始まった経緯について教えてください。

松本市は、信州大学生の8割を占める県外出身者が、松本市に住民票を移してくれない、また、大学卒業後松本市に定着してくれないことを問題視し、松本にずっと居続けてもらうために、若者にとってもっと魅力的な街にしたいという思いを抱いていました。

一方、信州大学生にも地域との関わりを持つことができない、松本にどのようなものがあるか分からない、という思いを抱える人たちがいました。

こうした松本市の「若者にとって魅力的な街にしたい」という思いと、信州大学生の「松本をもっと知りたい」という思いが致し、信州大学の学生有志と松本市との協働で、「松本をもっとよくしようプロジェクト」が、2019年7月に発足しました。



関さん(右から2番目)と仲間たち

一 主な活動内容について教えてください。

最も大きな活動は、「学割でおトクにかえるパスポート」(カエルパ)です。これは、若者を地域ぐるみで応援するもので、若者が松本の色々なところで買い物をする事によって、若者で賑わう街にすることを目的とした事業です。高校生以上の学生が学生証を提示することで、割引などのサービスを受けることができます。現在、全部で105店舗の協賛を頂いており、これらのお店についてSNSのまつもつと公式アカウントに掲載することもしています。このサービスを利用してもらえるように、松本山雅の本拠地であるサンプロ・アルウィン(長野県松本平広域公園総合球技場)やイオンモール松本で『カエルパ!』の広報活動を行っています。

また、今年度からは、松本を散歩してこの街の魅力を発見する「まつぶら」という企画を始めました。将来的には、これらの活動を拡充していきたいです。

関さんへのインタビューの中で、松本の魅力を若者に伝えるために、様々な企画を立案・実行しようとする姿には見習うべきものを感じました。今年度は、若者と地域とが関わる機会を増やしていくために、松本市の色々なお店を知ってもらおうとともに、学生や若者が行っている活動を披露して地域の人々に知ってもらおうといったようなイベントを行いたいと考えています。(インタビュー上野)



『カエルパ!』PR活動の様子(イオンモール)

一 何か困っていることはありますか?

『まつもつと』は松本をもっと良くすることを目的とする団体ですが、何をもっと良くしていこうか悩んでいます。「もっとよくする」の趣旨として、若者が色々なところで買い物をするなどして、楽しい松本ライフを送ってもらえるようにすることがあります。しかし、まだ地域との関わりが少なく、松本のことをもっと知る機会がなかなかないので、この問題を解決していきたいです。

また、今現在『カエルパ!』をはじめとする様々な活動を行っていますが、今後既存の活動をどのようにしてより発展させていくべきか、この点が課題であると考えています。



若者向け「松本食べ歩きガイドブック」

一 今後の展望について教えてください。

今までは『カエルパ!』の普及を中心に行ってきましたが、より自分たちから能動的に動くことにより、松本をもっと良くしていきたいと思っています。そのためにも、他の学生団体とも協力して、松本をより一層良くしていくためにどうすればよいか、ということについて考えていきたいです。

また、今年度新しく『まつもつと』に入ってくれた新入生の方もいるので、もつと彼らにも活動してもらえるような企画を考えたり、地域と若者を繋ぐような楽しいイベントを開催したりして、他のイベントとも協力して新しいものを作りたいと考えています。

■イベント情報

【ライフデザインセンター なんでもありの勉強会】
食からみつめる 脳とからだの健康づくり

～ 日々の食事の養生訓 ～

講師：有路 憲一氏（信州大学総合人間科学系）

2022年度の勉強会で好評でしたので、その続きです。
超ご多忙な先生に、無理をお願いしました。

- ◆日時：9月25日(月) 10:00～12:00
- ◆会場：松本市民活動サポートセンター
- ◆参加費：会員 500円 / 一般 1,000円
- ◆定員：30名（申込み順、定員になり次第締め切ります）
- ◆問い合わせ先：ライフデザインセンター 松本事務所
TEL：0263-46-2020

【信州自遊塾第42回講座】

～開かれた日本になるために一入管法を通して考える～

6月に国会内外での反対を押し切って可決された新入管法に関連して、世界人権宣言や他国との比較を通して、日本の難民や外国人の受け入れについて学び考えます。

スピーカーに NPO 法人「難民支援協会」マネージャーの赤坂むつみさんをお招きしている他、信濃毎日新聞の外国人労働の問題を取り上げた「五色（いつついろ）のメビウス」の担当記者、井手拓朗さんと、ミャンマー出身で信大経済学部 OB、ABC マート勤務のティ・ハ・ソーさんに、日本の実態とその背景を語って頂きます。

- ◆日時：9月30日(土) 13:30～16:00（13:00 開場）
- ◆会場：松本市 M ウイング 6 階ホール・オンライン併用
- ◆参加費：500円
（信州自遊塾会員・大学生以下・オンライン参加は無料）
- ◆要約筆記・手話通訳：なし
- ◆問い合わせ先：松本照喜(信州自遊塾) 090-4911-8209

■サポートセンターより

<重要なお知らせ>

松本市民活動サポートセンターのホームページが一新されます。

具体的には、これまで市の公式ホームページ（松本市ホームページ）とは独立して運営しておりました市民活動サポートセンターのホームページは、2023年上期完了を目処に、順次「松本市ホームページ」に移管されます。

しばらくは、併存いたしますが、登録団体各位にとって一番のアクセスとなります「センター予約状況」（予約状況カレンダー）は2023年10月1日をもって松本市ホームページ内に切り替わる予定です。詳細につきましては、切り替えるタイミングをみて、別途お知らせいたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。

プラチナサロン 9月

日時：9月14日（木）10:00～12:00
内容：マジック（電話でお金詐欺編）
講師：柴山千春（プラチナサポーターズ松本）
会場：市民活動サポートセンター
対象：おおむね55歳以上
参加費：300円

プラチナサロン 10月

日時：10月12日（木）10:00～12:00
内容：チンチン電車沿線歴史散歩
講師：臼井光裕（プラチナサポーターズ松本）
会場：【屋外】-あがたの森公園周辺 -
対象：おおむね55歳以上
参加費：300円

プラチナサロン 11月

日時：11月9日（木）10:00～12:00
内容：語り部
講師：初谷澄夫さん・大子さん
（プラチナサポーターズ松本）
場所：市民活動サポートセンター
対象：おおむね55歳以上
参加費：300円

編集後記

本号の巻頭記事にありますとおり、今年度の「松本市民活動フェスタ」は、10月7日に新規オープンとなります「新・松本市立博物館」で11月に開催される運びとなりました。フェスタに向けた第2回企画会議にて会場が決定した瞬間、会議に参加された団体の皆さんの顔色が、パッと変わった気がしました。まさに希望と期待に満ちた晴れやかな表情にです。今年のフェスタは、ともすれば陥りがちなマンネリ化やコロナ禍での沈滞ムードを吹き飛ばしてくれる！そんな予感にワクワクしながら、多くのご参加をお待ちしております。（永田）